

(様式 1-3)

福島県（南相馬市他 10 市町村）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成 27 年 5 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

| | | | | | |
|---|-----------|---------------|-------------------------|------|----------|
| NO. | 21 | 事業名 | 音声機能付き線量計整備支援事業 | 事業番号 | (3)-21-2 |
| 交付団体 | 福島県 | 事業実施主体（直接/間接） | 公益社団法人福島県視覚障がい者福祉協会（間接） | | |
| 総交付対象事業費 | 3,800（千円） | 全体事業費 | 3,800（千円） | | |
| 帰還環境整備に関する目標 | | | | | |
| 東京電力福島第一原子力発電所の事故により飛散した放射線に対する不安が住民の帰還・避難地域の復興の阻害要因となっている。通常の線量計の活用が困難な視覚障がい者の放射線に対する不安を軽減し、帰還意欲の醸成を図る。 | | | | | |
| 事業概要 | | | | | |
| 公益社団法人福島県視覚障がい者福祉協会が実施する視覚障がい者に対する「音声機能付き線量計」の無償貸与について、機器の購入費用を助成する。 | | | | | |
| 当面の事業概要 | | | | | |
| ＜平成 27 年度＞ | | | | | |
| ・ 視覚障がい者に無償貸与する音声機能付き線量計の購入費用の助成。 | | | | | |
| ・ 補助先：公益社団法人福島県視覚障がい者福祉協会 | | | | | |
| 地域の帰還環境整備との関係 | | | | | |
| 視覚障がい者にとっては、通常の線量計では線量の確認ができないため、放射線への不安を持つ方が依然として多い。帰還準備や住宅再建に向けた被災家屋の解体、住宅・宅地の測量の立ち会い等のために、避難指示区域へ立ち入りの機会が増加していることから、音声式線量計の貸与により、放射線への不安を軽減し、帰還意欲の醸成を図ることが可能となる。 | | | | | |
| 関連する事業の概要 | | | | | |
| なし | | | | | |

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

| | |
|-----------|--|
| 関連する基幹事業 | |
| 事業番号 | |
| 事業名 | |
| 交付団体 | |
| 基幹事業との関連性 | |
| | |